



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.43
令和7年10月31日
文責:校長 酒井 健

◇運営委員会の皆さん、ありがとう！

10月28日(火)～30日(木)の日程で、「赤い羽根募金」が、運営委員会の皆さんの活動として行うことができました。

この「赤い羽根募金活動」は、都道府県を単位として行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいた寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

今年度の共同募金運動の期間は令和7年10月1日から令和8年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われています。

安積三小での3日間の募金合計額については、後日運営委員会からのお知らせでお伝えいたします。皆様の善意あるご協力、本当にありがとうございました。運営委員の皆さん、ご苦労様でした。



◇「自己管理」できる子どもたちに育てていきましょう。



生徒指導部の調査より、ネット・SNS利用する児童は約83%、5時間以上利用していると回答した児童は13%にも達しているという結果がでました。安積三小の子どもたちも、YouTubeを見る、通信型のゲームをする・・・たくさん子どもたちが、スマホやタブレットを見ている時間が多いようです。要注意です。時間に関係なく遊んでいると、いろいろなところに弊害がでます。

◆目のまわりの筋肉の低下 → 視力低下 ◆脳の疲れ → 成長ホルモン分泌の低下

◆現実とバーチャルの世界が混同してしまう → 言葉遣い、考え方、友達との関係に変化

これらを防ぐためには、ご家族の皆様のご協力が必要です。時間を決める、悪影響を及ぼすゲームを利用を控える、昼夜逆転をさせない・・・ご家庭においても、子どもたちへの指導をお願いいたします。

【校長のひとりごと】

以前、勤務していた学校の廊下に貼っていたポスターです。「遠くからじゃ分からない。あなたは気づいていますか？」と書かれていますね。また、太文字で「もっとよく見て」とも書かれています。この写真では分かりませんが、女の子の頭の上には、小さい文字で、こう書かれています。「今、いじめられています。誰か助けてください」・・・本当に遠くからだと分かりませんが、この女の子の髪、そして洋服には、言葉がたくさんちりばめられています。HPで拡大して見てください。細かい文字がたくさん！！

髪の毛の部分・・・「キモい、雑魚、空気読め～、カス、うざい、殺す、ノロマ、触るな、どんくさい・・・」など

洋服の部分・・・「助けて、苦しい、誰か気付いて、話を聞いてください、早く楽になりたい、悲しいね、死にたい・・・」など

この女の子の表情は、微笑んでいますよね。しかし、これは作り笑顔なんです。心の中は張り裂けそうなんだと思います。私たち大人は、子どもたちのちょっとした仕草や表情、言動の変化にいち早く気付いていくことが大切です。耳では聞こえない心のSOSに気付く感性をもたなくてははいけません。目の前の子どもたちが安心して生活できる学校であり続けるために、私たちは、この『気付く感性』を磨いていきます。そして、「いじめ」は絶対に許さない、やってはいけない・・・このことについては、学校もご家庭も共通認識で進めていきましょう。

